

第58回 歴史地理学会大会・総会プログラム

1. 期 日：2015年6月27日（土）・28日（日）および29日（月・巡検）
2. 会 場：山形県立米沢女子短期大学 〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1
アクセス：JR米沢駅西口バス乗り場から「循環南回り路線（右回り）」に乗車（約10分、左回りで約40分）、「米沢女子短大前」下車。
3. 日 程：

6月27日（土）	9：30～12：00	公開講演会（山形県立米沢女子短期大学）
	12：00～13：00	評議員会（同上）
	13：30～16：00	研究発表（同上）
	16：30～17：30	総 会（同上）
	18：00～20：00	懇 親 会（市内ローズガーデン）
28日（日）	9：30～15：30	シンポジウム・研究発表（山形県立米沢女子短期大学）
29日（月）	9：15～16：00	巡 検

4. 公開講演会

演 題：岩鼻通明氏（山形大教授）「出羽三山信仰と置賜」
木村茂光氏（帝京大学教授）「前近代畠作論の地平」
会 場：山形県立米沢女子短期大学
参加費：無料

5. 研究発表・シンポジウム

自由論題および共同課題「地域資源の歴史地理」
会 場：山形県立米沢女子短期大学
大会参加費：1,000円（当日、大会受付で資料集と引き換えにお支払いください）

6. 懇親会

会 場：ローズガーデン（米沢市金池8-4-10 電話0238-24-5205）
会 費：5,000円。ただし学生会員は4,000円（当日、大会受付にてお支払いください）

7. 昼 食

27、28日とも、大学の食堂・売店は、営業を行っておりません。大学から歩いて10分程度の場所に飲食店（中華そば、鰻料理、喫茶店）、パン工房、コンビニ、スーパーがございます。27日はそちらをご利用いただくか、あらかじめ米沢駅等にてご用意ください。
28日の昼食につきまして、お弁当を販売いたします。希望される方は、27日に大会受付で弁当代（飲み物付き）1,000円をお支払いください。

8. 巡 検

テーマ：米沢の地域資源探訪と上杉文書・絵図の熟覧
集 合：6月29日（月）9：15、 JR米沢駅
コース：米沢駅—米鶴酒造—米沢郊外（直江石堤など）—昼食（南原そば）—上杉家廟所—米沢織元新田—上杉神社（米沢城跡）—上杉博物館（上杉文書の絵図見学）—米沢駅（16：00着予定）
案内者：原 淳一郎（山形県立米沢女子短期大）ほか
参加費：3,500円（昼食、入場料込み）。前日までに大会受付でお支払いください。
申込方法：6月19日（金）までに、氏名・所属・住所・携帯電話番号を明記のうえ、電子メールまたは葉書で下記あてお申し込みください（期日厳守）。
電子メール：hara@yone.ac.jp（原 淳一郎氏あて）

郵便あて先：〒992-0025 山形県米沢市通町6-15-1

山形県立米沢女子短期大学 原 淳一郎氏あて

備考：事情により、見学先が前後することがございます。

9. 宿泊情報

米沢市内に複数のホテル・旅館がございますが、大学へのアクセスを考えますと米沢駅周辺が便利です。混みますので、早めのご予約をおすすめいたします。

10. 大会開催中（6月27日～29日）の緊急連絡先

山形県立米沢女子短期大学 電話：080-1261-5153

〈大会実行委員会〉

原 淳一郎（委員長 山形県立米沢女子短期大）、岩鼻通明（山形大）、渡辺理絵（山形大）、
藺部寿樹（山形県立米沢女子短期大）、小林文雄（山形県立米沢女子短期大）

◇6月27日 土曜日

●第1会場【自由論題】

〔座長：水谷英志〕

101（13：30-14：00）遠藤匡俊（岩手大）：文政5（1822）年の有珠山噴火とアブタ会所周辺の人々の避難行動

102（14：00-14：30）小野映介*（新潟大）・日塔梨奈（新潟大・元学生）・片桐昭彦（練馬区文化・生涯学習課）・矢田俊文（新潟大）：絵図に描かれた1858年飛越地震による天然ダム形成場所の比定（*は登壇者）

〔座長：山近久美子〕

103（14：30-15：00）張 旭（関西大・院）：北京城における宗教建築の変遷一元、明、清時代の復原の方法をめぐって

104（15：00-15：30）張 立宇（関西大・院）：四川盆地・成都における都城の残存景観による復原の試み

105（15：30-16：00）小島泰雄（京都大）：近代中国の山西における村制の地理的基礎

●第2会場【自由論題】

〔座長：清水克志〕

201（13：30-14：00）有藺正一郎（愛知大）：三河国渥美郡羽田村浄慈院の人糞尿の汲みとり先と下肥の施用状況

202（14：00-14：30）服部亜由未（愛知工業大）：新聞記事に見る秋田県と鯧漁業との関わり

203（14：30-15：00）井村博宣（日本大）：徳島県鮎養殖漁業協同組合の成立と展開

〔座長：双木俊介〕

204（15：00-15：30）大平晃久（長崎大）：戦時体制下における佐世保市相浦の都市計画

205（15：30-16：00）加藤政洋（立命館大）：戦後那覇における旅館業の集積とその特徴

◇6月28日 日曜日

●第1会場 シンポジウム【地域資源の歴史地理】

オーガナイザー：野間晴雄（関西大）・湯澤規子（筑波大）

9：30- 9：45 湯澤規子：「趣旨説明」

9：45-10：55 第1セッションー権力と所有一

S101 原田洋一郎（東京都立産業技術高等専門学校）「地域と鉱物資源」

S102 米家泰作（京都大）「草原の「資源化」政策と地域—近代林学と原野の火入れ—」

平岡昭利（下関市立大）：コメント

10：55-11：00 休憩

11：00-12：10 第2セッション—市場と生活—

S103 須山 聡（駒澤大）「奄美大島の観光における地域の資源化と商品化」

S104 湯澤規子（筑波大）「地域づくりの系譜—山梨県甲州市の碁穴桜とかつめま朝市—」

野間晴雄（関西大）：コメント

12：10-13：00 昼休み

13：00-14：40 第3セッション—技術と利用—

S105 橋本道範（滋賀県立琵琶湖博物館）「日本中世における「水辺」の支配—播磨国矢野庄の河成をめぐって—」

S106 伊丹一浩（茨城大）「19世紀南フランス・アルプ山岳地における灌漑の利用と地域資源」

S107 元木 靖（埼玉／立正大・名誉）「地域資源としての水をめぐる環境史—中国・長江流域の事例から—」

溝口常俊（名古屋大・名誉）：コメント

14：40-14：50 個別の質疑応答

14：50-15：20 総合討論

15：20-15：30 野間晴雄：「総括」

●第2会場【自由論題】

【座長：宮本真二】

206（9：30-10：00）駒木野智寛（東北大・院）：縄文時代における環状集落の地理学的研究

207（10：00-10：30）加藤和徳（岩手大大学院連合・院）：板碑と在家集落の復原

—山形県南陽市梨郷地域を事例として—

【座長：筒井 裕】

208（10：30-11：00）金子直樹（関西学院大）：岩木山の「四至」と信仰圏

—津軽安藤氏と中世日本の境界認知との関連—

209（11：00-11：30）児玉 史（名古屋大・院）：近世高知城下町の空間構造に関する研究

〈午後の部〉

【座長：長谷川奨悟】

210（13：00-13：30）古田悦造（東京学芸大）：近世末期における参詣行動の一考察

—『遊歴雑記』の七福神巡りを事例として—

211（13：30-14：00）小林善仁（鹿児島大）：明治初年の京都における町組と境内地

—町絵図の分析を中心に—

【座長：阿部美香】

212（14：00-14：30）石井智子*（茨城大・院）・小野寺 淳（茨城大）・塚本麻文（五霞西小）：明治期の民間地図製作者酒井捨彦の地図（*は登壇者）

213（14：30-15：00）大西真由（東京学芸大・院）：『東京近郊名所図会』に関する基礎的研究

—明治末期の名所と地誌の実態について—

